


**補欠ゼロリーグ!**

補欠ゼロリーグは、キッズ年代（10歳以下）の子供たちに「年間を通して定期的に試合ができる環境」を提供するため、2004年にスタートした岩手県独自の取り組みです。

才能を埋もれさせず、ひとりでも多くの子供たちがサッカーへの関心を持続してくれることを目的としています。また、FAエリートプログラムやFAスクールから発掘した子供たちを参加に導いて、連動させています。

- 【主催】 (公社)岩手県サッカー協会
- 【主管】 (公社)岩手県サッカー協会 キッズ委員会 11地区
- 【運営】 地区キッズ担当者、参加団体指導者、JFAキッズリーダー、父母、学生など
- 【対象】 少年団・クラブチーム・スクール等に所属する小学4年生以下のキッズおよび準ずるキッズで、傷害保険に加入していること
- 【内容】 2002年にJリーグ・アカデミー(当時プロジェクトリーダー山下則之氏)が提唱した「補欠ゼロ = 参加するすべての子供たちに均等に試合の機会を提供する」の考え方を基本として、参加団体の対抗戦ではなく、集まった子供たちをシャッフル混成チーム分け(4~5人制)して、そのチームでその日限りのリーグ戦(3試合程度)を戦い抜きます。

- ★ 混成するので団員1人での参加も大丈夫
- ★ 試合には常にレギュラー選手としてフル出場
- ★ 4~5人制でボールに関わるチャンスが多い
- ★ 混成チームの中でプレーすることで社会性を養う



## 一関地区 第2回 (U-6, U-8, U-10)

- 【日時会場】 2013年8月10日(土) 9:00~16:00 一関市東山総合体育館
- 【参加団体】 一関、一関南、千厩、東山、カワサキ、一関キッズ
- 【参加人数】 53名 【U6(2)、小1(11)、小2(3)、小3(20)、小4(17)】
- 【運営本部】 千葉 晃徳 県南キッズ部長、一関地区補欠ゼロリーグ責任者(一関南)  
鈴木 智 市協会(東山)
- 【運営サポート】 6名 (市協会、一関、一関南、千厩、東山)

### 【午前の部】 U6、U8、小3

開会式



準備体操



## 【会場全景】

4つのエリアに区切った活動です。(体育館備品の卓球用フェンスをお借りしています)  
左側は試合エリアで、「U6～小2用(ミニゴール)」と「小3用(ハンドボールゴール)」の2エリアです。  
右側は試合のない子供向けのトレーニングエリアで、「U6～小2用」と「小3用」の2エリアです。



## 【U6～小2】 「試合のようす」



「トレーニングエリア」 コーチのお話を聞き、ボールを手で扱ったり、ドリブルシュート練習などをしました。



【小3】

「試合のようす」 コーチが1人ずつ加わっています。



「トレーニングエリア」 スキルアップTR



【集合写真 U6～小2】



【 集合写真 小3 】



【 午後の部 】 小4 + 小3 (午後も参加したいという希望者)

本日の準備体操リーダー3名



試合のようす



体育館内は4号球を使用できないので、試合球にはフットサルボールを使用しています。



合間のクリニックで、コーチがデモ実演を見せて指導



#### 【活動を終えて】 地区キッズ担当者コメント

今節は夏休み行事等で参加人数が少なかったです。

午前の部 U9 はいつも通り MTM 制で実施しました。

U8・U9は参加人数が少なかったため、トレーニングコートを設置して、ゲーム以外の子供達にトレーニングを実施しました。そのため休み時間が無かったので、結構疲れた様子でした。ただし、空き時間が多いという部分については解消になりました。

U9のクリニックでは、鬼ごっこ、ボールスキルトレーニングをおこないました。

U9のゲームではコーチが GK に入り、コーチングしながらゲームをしました。前回よりポジショニングと関わり方が良くなりました。

午後の部 U10 もいつも通り MTM 制で実施しました。

U10のクリニックは、リフティングと、インサイドキックの距離感をイメージするトレーニング。また、合間のクリニックでは、前方にスペースがある時のトラップの質と相手選手への仕掛け方の指導をしました。

年内はあと **11月23日(土)**、**12月7日(土)**に開催する予定となっています。多数の参加をお待ちしております。よろしくお願いいたします。

千葉 晃徳 県南キッズ部長、一関地区補欠ゼロリーグ責任者（一関南）

編集：鎌澤和之（県協会キッズ）